



～ 夢ひとすじに～

宮原中だより

自ら学び 心豊かに たくましく

平成 28 年度 第 8 号
平成 28 年 12 月 1 日 (木) 発行
さいたま市立宮原中学校
メールアドレス

miyahara-j@saitama-city.ed.jp

ホームページアドレス

<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp/>

「かごの中をきれいにしようとしたの? (ある母の言葉)」

こばやしひろとし
校長 小林 広利

あるスーパーマーケットでの出来事です。幼稚園入園前くらいの年の男の子が、スーパーのかごを幼児用のカートに入れて転がすお手伝いをしていました。カートを一所懸命に動かしている幼児の顔は生き生きとしています。しかし、カートが上手く前に進みません。そのときお母さんは、「お手伝いありがとうね」と言って、かごの前にそっと手をやり、進行方向にカートを誘導しました。上手く進めるようになると手を離しています。当然、幼児は得意そうです。幼児は、母親がかごに野菜等を入れるとそれを自分でも触ろうとかごに手を伸ばします。お母さんは「ブロッコリーよ。おいしく食べようね!」と話しかけました。少し眺めていると、今度はかごに入れた牛乳に幼児の手が伸び、牛乳をかごの中で倒してしまったようで、牛乳の脇に入れてあった菓子パンをつぶしてしまいました。お母さんは「かごの中をきれいにしようとしたの? ありがとうね。でも、重いものは下、軽いものは上よ。パンがつぶれちゃうからね!」と言って、つぶれた菓子パンを幼児に見せました。このような場合、「何をやってるの。かごの中を触っちゃだめって言うてるでしょう。」と言う母親は何人も見てきましたが、今回のような母親の対応はあまり見たことがありませんでした。幼児は、今後このお母さんの下で様々なことを学び成長していくだろうと思うと、他人の私もニコニコしてしまう場面でした。

先日11月24日には、さいたま市でも雪が降り積り、気象庁は関東各地で初雪を観測したと発表しました。東京都心で11月に積雪が確認されたのは、気象観測を始めた1875年以来初めてということですが、右の写真は、24日の朝の登校風景です。木の葉が紅葉で色づき、黄色い落ち葉のじゅうたんの中、木々には白いわたあめのような雪がつきはじめ、生徒たちは、その中を、傘をさして登校して来ました。秋と冬とが一枚の写真の中に同居する幻想的な場面でした。



この日、ご家庭では、子どもたちとどのような会話がなされたでしょうか。これからは寒い日が続きますが、ご家庭では数多くの温かな会話が弾んでほしいと願っています。

平成28年度も残すところ4ヶ月となり、3年生は、進路に向けて、日ごろの授業はもちろん、家庭学習や三者面談などを通して努力を続けています。2年生・1年生は、勉強はもちろん、学校行事や部活動などに、寒さを忘れて一生懸命に取り組んでいます。2学期を振り返ると、生徒たちの頑張りや成長が随所に見られました。今回紹介した、幼児と母親のように、周りの大人の考え方や対応一つで、同じ場面でも、生徒を褒めることもできるし、叱ることもできるような気がいたします。褒めることも必要ですし、叱ることも必要です。しかし、叱られてばかりでは、人間は萎縮し、自信を失ってしまいかねません。叱られたことを素直に受け止めることのできる子どもは、褒められた経験も多い子なのではないでしょうか。

今、3年生は、入試の面接練習として校長面接を実施しています。「宮原中学校はどのような学校ですか?」と尋ねると「あいさつがよくできる学校です」「靴のかかどがそろえられる学校です」「地域行事に積極的に参加する学校です」などの答えが返ってきます。今後も、保護者・地域の皆様とともに子どもたちの成長を見守りながら、校訓「夢ひとすじに」の下、子どもたちに寄り添った適切な指導を推進してまいります。今後とも、本校教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。